



帝京平成大学
オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2021 08 15

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

- ◆ 薬学科のご説明 (是非ご参加ください) (3階 303教室)
9:10~9:30 13:10~13:30
- ◆ 模擬授業 (3階 303教室)
9:30~9:50 13:30~13:50
- ◆ 体験実習 (無菌調剤実習室 3階 313)
「薬剤師が行う手洗いを体験してみよう！」
第1回 11:00~11:30 第2回 14:00~14:30
- ◆ オープンラボ (4階 413研究室)
「骨だけではない！生命活動をカルシウムで理解する」
9:00~12:00 13:00~16:00
- ◆ オープンラボ (4階 416研究室)
「細胞や DNA を見てみよう」
9:00~12:00 13:00~16:00
- ◆ 学生交流・進学相談 (3階 304教室)
「薬学部のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」
9:00~12:00 13:00~16:00

その他 (全学部共通) 9:00~12:00 13:00~16:00

個別相談 (入学者選抜・奨学制度)			(1階 食堂)
個別相談 (就職)			(1階 就職支援室)
メディアライブラリーセンター見学			(8階 図書館)
入学者選抜説明	10:00~10:30	11:30~12:00	(2階 204教室・225教室)
	14:00~14:30	15:30~16:00	
面接対策講座	10:00~10:30	11:30~12:00	(4階 442教室)
	14:00~14:30	15:30~16:00	

尿酸って何？ プリン体って？ 痛風にならないために気をつけること

痛風は『とにかく痛い病気』のことです。その予備群が『血液中の尿酸が高い病気 = 高尿酸血症』です。日本では、痛風・高尿酸血症の患者さんが増えていて、その原因は生活習慣、特に食生活の変化のためと考えられています。この模擬講義では、血液中の尿酸や、尿酸を上げる原因のひとつであるプリン体、そして痛風を予防するポイントについて、薬学部で学ぶ内容と合わせて解説します。



教授 金子 希代子

薬学基礎教育ユニット

東京大学薬学部卒、東京大学大学院薬学系研究科修士課程修了、薬学博士。帝京大学医学部、同薬学部を経て、今年4月から帝京平成大学薬学部へ。現在に至る。

卒業研究で学生さんが測定した『食品中のプリン体含量』は多くの医療機関で使われています。薬学部ではこのような学びの選択肢もあります。

体験実習

薬剤師が行う手洗いを体験してみよう！

会場 3階 無菌調剤実習室(313)

第1回 11:00～11:30 / 第2回 14:00～14:30

上記以外の時間も施設の見学は可能です

- 薬剤師が薬の調製（調剤）を行う場合には、衛生的な手洗い（手指衛生）を確実に行うことが求められます。
- 特に注射や点滴で投与する薬の調製では、無菌的な作業が必要となるので、薬学部の学生さんも実習で手洗いを学びます。
- 今日の体験実習では、衛生的な手洗いや手指消毒の手技を体験していただき、日頃、行っている手洗いや消毒について、考えてもらう機会にしたいと思います。



担当教員 薬学臨床教育研究センター
病院薬学ユニット 富田 隆
島崎 学

学生アシスタント



オープンラボ

骨だけではない！

生命活動をカルシウムで理解する

会場：413 研究室（4階）

時間：9:00～12:00 13:00～16:00

『カルシウムって体の中で何をしているのでしょうか？』と尋ねると、多くの人から『骨！』という答えが返ってきます。間違っている答えではありませんが、カルシウムは多くの私たちの生命活動に関わっています。筋肉を動かす、血液中の血糖を下げる、そして神経が活動するためにカルシウムはなくてはなりません。



私たちはまだ不明な点が多く存在する生命活動を明らかにするためにカルシウムという観点から研究を行っています。今回のオープンラボでは細胞の中のカルシウムを測定する機器を見学していただき、カルシウムが関わる身近な出来事について話したいと思います。

担当：薬理学ユニット、生理・病態学ユニット

戸田 雄大

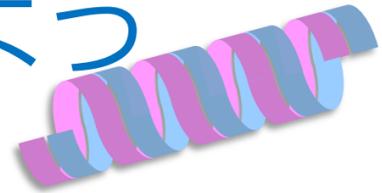
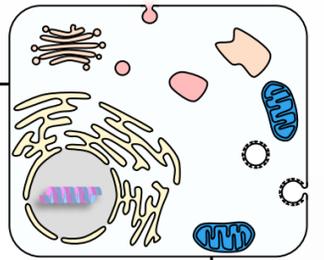
石井 正和

オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！
細胞やDNAを見てみよう

会場・時間

専門ラボ6 (416研究室 4階)
9:00~12:00 13:00~16:00



- 私たちの体は、細胞という小さな『粒』が集まった組織や臓器でできています。そして、この細胞や組織で働いているタンパク質は、様々な疾患と関与することが知られています。私たちは、これらタンパク質の研究を行うことで、新しい薬の標的を見つけようと試みています。今回のオープンラボでは細胞やDNAを観察することで、普段おこなわれている研究の一部を体験してみてください。

- 担当教員



膜機能ユニット
小川裕子

ヒトの体には約60兆もの細胞が存在し、それぞれの細胞がつくるタンパク質が生命現象を調節しています。普段は目に見えない細胞や組織を実際観察してみましよう。



細胞生化学ユニット
青木一真

新しい薬の開発には、その対象である病気や疾患の背景にある生命現象を詳しく理解することが必要です。そのため薬学部では分子・細胞レベルでの基礎的な生命科学の研究も活発におこなわれています。